



ひまわり通信

No.00727. 2025.7.24(木)

健康寿命から貢献寿命へ

癌を自然に治す「4ヶ条」 故 安保徹先生著「老けない人の免疫力」より

●第一条・・・生活習慣の改善

まずは自分の生活習慣を省みて、癌になった原因が何かをしっかりと把握することが第一です。

◇これまで、無茶な長時間労働はしていなかったか？

◇人間関係で悩んでいなかったか？

◇夜更かしを続けていなかったか？

◇頑張りすぎる傾向はなかったか？

◇怒りっぽくはなかったか？

◇自分を責めてばかりいないか？

◇食事は偏っていなかったか？

以上のように、自分の心と身体に対して、なんらかのストレスの原因となるようなことを継続的にしてきた人は、まず生活習慣の見直しをしてください。

●第二条・・・癌を必要以上に怖がらない

「癌」と聞けば、誰でも大きなショックを受けるのは仕方ありません。これは誤った解釈によって、人間の頭の中に「癌＝死」という構図があまりにも強く刷り込まれているからです。

私はそうした方々にあえて言います。癌は死に至る病気ではありません。

むしろ癌という病気は、人間の生き方を見直すシグナルと考えてください。そしてあまり深刻に考えすぎず、気楽に付き合うことが、治療に向けたもっとも良い心の対処方法です。

●第三条・・・三大療法に頼るべからず

癌手術、放射線治療、抗癌剤治療、これらの三大治療は、私の唱える免疫学的見地からすればすべて矛盾しています。基本的に、手術で身体にメスを入れるということは、細胞や組織に傷をつけていることと同じです。こうした外傷を受けると交感神経優位となり、免疫力が低下します。

また、放射線治療や抗癌剤治療は、白血球を減少させ、癌と闘う力を奪うため、医者からの進言があっても断ることが肝心です。また、治療を進行中の人は、即刻中断することが賢い選択です。

●第四条・・・副交感神経を優位にして免疫力を高める

副交感神経を刺激することでリンパ球が増え、免疫力が正常に作用し始めます。交感神経が優位で顆粒球の増加になったため発症した癌細胞も、自律神経のバランスが保たれることによって自然と退縮し、やがては消滅していきます。

癌を恐れている人、あるいは、たとえいま癌に触まれているひとでも、以上の4ヶ条をしっかり守って、日々の生活を生き生きと過ごせば、癌は恐れるに足るものではありません。

イスラエルの赤い宝石「ドナリエラ」愛の一粒運動実施中！！

(株)日健総本社 兵庫特約店

(有)クロスタニンひまわり

☎ 0120-42-8198